

春木川・轟川をよくする市民の会

市民の環境保全活動

団体の概要

【目 的】春木川・轟川流域の河川・水路等の環境問題について地域の住民が自主的に話し合い、関係機関との連絡、調整をはかりながら協働して諸活動を進め、流域の豊かな水辺環境を取り戻し、うるおいのある地域づくりを進めることを目的としています。

(結成：平成8年11月)

【参加団体・個人】流域 53 町会、学校関係 14 団体、各種 32 団体、個人 12 名

具体的な取り組み

◆春木川・轟川一斉清掃

源流の神於山（北阪町）から河口（春木泉町）まで、およそ 11km を年 2 回一斉に清掃しています。

実施日：平成 23 年 10 月 23 日 参加者：881 名 ごみ収集量：4.2t

平成 24 年 3 月 11 日 参加者：948 名 ごみ収集量：3.7t

◆春木川カニ釣大会

春木川流域の子ども達を対象に、河口部でカニ釣りを楽しみながら、カニの種類と生態について、また河川環境を守る大切さを学んでもらおうと、六蓮橋から春木橋の間で実施しています。

実施日：平成 23 年 7 月 16 日 春木・朝陽・大宮・城北小学校の児童と保護者を対象に実施。

平成 23 年 7 月 30 日 常盤・八木南・光明・修斉小学校の児童と保護者、本会構成団体の小学生と保護者を対象に実施。

合計 202 名が参加。

◆春木川・轟川市民のつどい

「春木川・轟川の変遷」をメインテーマに開催。「春木川・轟川今昔物語」をテーマとした講演のほか、カニ釣り大会に参加したガールスカウトからの環境学習の体験について発表がありました。また大阪府からは春木川の子どもの水辺整備計画について、本市からは春木川・轟川の水質状況について報告を行いました。参加者：105 名。

◆春木川ファミリー魚釣り大会

春木川に生息する魚類と河川環境との関係を体験的に学んでもらおうと実施しました。

実施日：平成 23 年 11 月 13 日

参加者：35 名

◆ホタル再生部会

春木川の水質が改善しつつあるなか、再び川面にホタルを飛び交わせたいとの思いから、平成 21 年 9 月 8 日に、第 1 回目のホタル再生部会が開催されました。以来、ホタルの種類と生態を学習するほか、ホタル再生に向け、生息地の調査や餌となるカワニナの研究などを重ねています。

葛城の谷市民協議会

市民の環境保全活動

団体の概要

【目的】津田川の自然を守り、後世に引き継ぐ

【参加団体】旭・太田、天神山、修斉、東葛城地区市民協議会

具体的な取り組み

◆津田川一斉清掃

源流から虎橋までを一斉に清掃。

実施日：平成 23 年 10 月 23 日	参加者：432 人	ごみ収集量：2.6t
平成 24 年 3 月 11 日	参加者：676 人	ごみ収集量：3.5t

牛滝川・松尾川を守る会

市民の環境保全活動

団体の概要

【目的】牛滝川・松尾川を美化と環境保全のため

【参加団体】全八木、山直北・城北、山直南、山滝地区市民協議会

具体的な取り組み

◆牛滝川・松尾川一斉清掃

源流から高橋までを一斉に清掃。

実施日：平成 23 年 7 月 31 日 参加者：1,650 人 ごみ収集量：5.3t

きしわだ環境市民会議

市民の環境保全活動

団体の概要

地球環境を守り、自然と共生して、市域のよりよい環境を確保し、持続可能な循環型社会を次世代に引き継ぐことを目的に、市民（個人・団体・グループ）、事業者及び行政が岸和田市環境計画に掲げるパートナーとして、相互の活動をネットワークで結び、さらに広げ、協力・協働行動を推進するために設立。

具体的な取り組み

◆企画運営委員会、各部会（生活環境部会・自然環境部会・温暖化対策部会・環境教育部会）
毎月 1 回開催

◆ごみゼロ作戦：平成 23 年 5 月 3 日

岸和田市民フェスティバルにて 10 ヶ所のリサイクルステーションを設置。総ごみ量 3.5 t

のうち 1.7 t を資源化。資源化率は 49%。（ボランティア参加者 154 名）

◆市内一斉気温測定：平成 23 年 7 月 25 日・平成 24 年 2 月 11 日

地球温暖化問題を考えるきっかけとして、「地球の体温いま何℃？-はかってみよう岸和田の暑さ-」を合言葉に市内において一斉気温測定を実施。

測定参加者：（7 月）245 名、（2 月）113 名

◆きしわだ環境市民会議総会：平成 24 年 2 月 26 日

岸和田市立公民館で開催、市民公開講座を同時開催。

「地域と共生する営農への取り組み」

谷口 敏信さん（JAいずみの 常務理事）